

歴史紀行

昭和11(1936)年11月24日

観光映画

「史蹟の吉田」(フィルムは個人蔵)



安芸高田市歴史民俗博物館
学芸員 古川 恵子

あの日の記憶は 写真の中にII[22]

毛利元就没後450年を記念して、今回は毛利氏に関連した観光映画「史蹟の吉田」を紹介します。

このたび16mmフィルムをDVD化し、映画の内容が明らかになりました。

昭和11(1936)年、まだ地方での観光映画が珍しかった当時、吉田郷土史調査会によって制作されたこの映画は、協力の大切さを説いた元就の逸話「百万一心」を世間に広めようとした当時の熱心な活動の一環だったようです。本編は約10分間の無声映画ですが、字幕があり、毛利氏の史跡を中心に町の魅力が紹介されています。

映像は郡山城の本城(初期の郡山城)から始まり、元就が青年期までを過ごした多治比猿掛城、そこから郡山城に戻り、麓の元就墓所も訪れます。そして町内の社寺や史跡など見どころを紹介。学校、商店街、警察署、郡役所を映して高田郡内の要所であることを伝え、バスの走る映像で交通の便の良さを売っています。

約90年前の吉田の様子を知ることができるこの貴重な映像は、10月23日(土)から歴史民俗博物館で開催予定の特別展「毛利元就」に合わせて公開予定です。

元就墓所参道前広場



右の建物は郷土史調査会直営の案内所兼土産販売店「春霞荘」。現在は駐車場。

水車



町の北東、柳原地区の江の川に設置されていました。当時の吉田の見どころの一つだったようです。

映画タイトル



フィルムは町内外に貸し出されました。

白線自動車本社



吉田町に本社をおいたバス会社。昭和初期はバス路線が次々開拓されました。

郡山公園



大正4(1915)年造園。恥づかしそうに登場する麓の女学校生徒。

へらぼりの池跡



江戸時代、苦しむ民衆の救済事業として、へらとザルを使い造られたという庭園跡。市役所の東南辺り。

消防



安芸高田市消防本部・安芸高田消防署 ☎42-0931 ☎47-1191
<https://www.akitakata.jp/ja/shisei/section/119/>



■ 消火器は定期的に点検してください

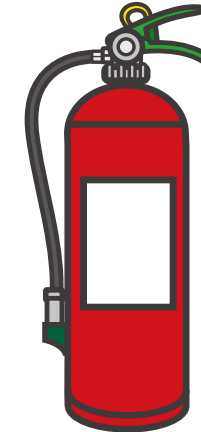
古くなった消火器が破裂し、大けがをする事故が毎年多発しています。長期間放置され本体が腐食した消火器は、使用する際に破裂する恐れがあります。腐食や変形などがある消火器は絶対に使用しないでください。

耐用年数を過ぎた
消火器は
使用しないでください

〈消火器の標準耐用年数〉

住宅用消火器 5年
業務用消火器 10年

耐用年数があるなんて
知らなかったわ!



不要な消火器の処分は

消火器リサイクル推進センター
リサイクル窓口検索

<https://www.ferpc.jp/accept/>



問予防課 指導係 ☎42-3951・お太助フォン42-3952

警察



安芸高田警察署 ☎47-0110
安芸高田市 危機管理課 ☎お太助フォン 42-5625

安芸高田警察署メルマガ
身近な犯罪情報などをタイムリーに配信しています(右のQRコードから登録できます)



災害支援金・給付金 不審電話に要注意!

過去の災害発生時には、支援金や給付金などを名目にした詐欺被害が発生しています。公的機関や市職員を名乗る電話には特に注意してください。



公的機関の職員を
装った犯人

「支援金」や「寄附」を
振り込む口座を
教えてください

個人情報や
カード情報などを
だまし取られる

給付金を交付するので
手数料を
振り込んでください。

手数料を
だまし取られる

被害に遭わないために

- 公的機関の職員を名乗る電話は、代表電話に折り返しかけて確認する
- お金に関することは必ず、家族や周りの人に相談してから判断する